

## 令和元年度第1回須磨区地域包括支援センター運営協議会議事録

日時：令和元年8月8日(木) 午後2時～3時30分  
場所：須磨区役所 201会議室  
出席：委員12名(欠席者なし)  
傍聴者：なし  
議事

《公開》

### 1 平成30年度あんしんすこやかセンターの運営状況について

(1) 各センターの月別実績報告書

(2) あんしんすこやかセンターのネットワークの状況

(委員)

- ・サービス付高齢者住宅に認知症の方の入居が多い。須磨区における高齢者の保健・医療・福祉のネットワークの関係機関に、「サービス付高齢者住宅」も入れて、見守り支援の対象としていくのが時代の流れではないか。

(事務局)

- ・多種多様な住宅が出来ており、把握しきれていない部分もある。サービス付高齢者住宅の相談員等と連携を取り、対応している実情はある。今後も一般住宅と同じ様に連携をとっていきたいと思っている。

(委員)

- ・本区と支所のセンターの予防マネジメント数の比率が違う。地域的なものなのか、区への対応によるものなのか。また、高齢者虐待の数も違う。区ごと・担当者ごとに違いがあるのか。ただの夫婦げんかも「高齢者虐待」になるとあんしんすこやかセンターの負担が多くなる。本区と支所に差があるのは何か理由があるのかどうか。

(事務局)

- ・統計的な片寄りや地域性や高齢化率の違いもあると考えている。
- ・ご指摘があったとおりに虐待認定すればあんしんすこやかセンターに関わる業務が多くなる。虐待対応の手引きに基づいてやっているが、本区では夫婦げんかの延長、夫婦関係の付き合い方などによる暴力・暴言行為を虐待とするのか、状況をよく見極めたうえで、判断している。

(委員)

- ・連絡会などの出席について、区・あんしんすこやかセンターの中で情報共有してほしい。職種別で複数配置のところも全員が出席している。歴史の長いセンター、浅いセンターによって対応は違うと思うが、情報共有するとき各センター1人出席でセンター内で共有すればいい。できるだけ会議を少なく、出席者をへらしてほしい。行政が主導で出席人数を調整してほしい。

(事務局)

- ・会議の仕方、情報共有も検討していきたい。

### 2 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて

質疑・意見なし

3 令和元年度あんしんすこやかセンター事業計画について

(委員)

- ・各センターは一生懸命努力していると思う。民生委員と連携をとる、情報共有すると(計画に)書いているが、結果がどうなったのか。民生委員も定員に足りていなくて困っている。それに対して区は具体的にどうするのか、どうしたいのか。

PDCA サイクルがどうなのか、課題はわかっているが、その後どうなったのか。地域が活性化するようにしてほしい。

(事務局)

- ・あんしんすこやかセンターの後方支援として、できるだけ一緒に地域の活性化に努めていく。

4 令和2年度地域包括支援センター公募について

(委員)

- ・圏域は、地域ふれあいのまちづくり協議会や民生委員児童委員協議会等とのこれまでのつながりがあるので、圏域が変わると信頼関係を作り直すのに時間がかかる。なるべく圏域は変えない方がいい。

- ・高齢者人口によって配置人数がきまる。4月1日の推計人口で評価してほしい。あと数人で加配が付く場合、配慮してもらえたらと思う。

- ・職員の人件費で、大卒の新人と20~30年経験した社会福祉士の1人あたりの単価が一緒はおかしい。

(議長)

- ・公募にあたっては、圏域を変えてほしくない。推計人口をもとに加配を考えてほしいという意見を伝えます。

(委員)

- ・委託期間は？

(事務局)

- ・前は6年だった。今回3年か6年かで検討中と聞いている。

《非公開》

5 地域包括ケア充実のための事業目標について

質疑・意見なし

6 特定事業所へのサービス集中率について

質疑・意見なし

以上